

令和 2 年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

基本目標No.	1	基本目標名	にぎわい、活力あるまち						
施策 No.	6	施策名	水産業の振興						
主管課名	農林水産課								
関係課名									
施策が目指す すべ	<ul style="list-style-type: none"> ・資源管理が行われ、安定した漁獲量が保たれています。 ・漁業の後継者が育っています。 ・魚津の魚が評価され、たくさん消費されています。 								
施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市民・事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・市民は、安全で新鮮な地場産食材を利用します。 ・事業者は、沿岸漁業資源を増やす努力や海を資源とした新しい事業(海業)に取り組みます。 							
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・水産業生産基盤の強化と漁業経営の安定化を図ります。 ・水産業の担い手や後継者育成と新規就業者の支援を行います。 ・「安全・安心」「高品質」な水産物の栽培とブランド化や地産地消を図ります。 							
	その他(地域)	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関・団体(漁協等)と連携して、水産業の振興に努めます。 							
施策を実行するうえで基本となる事業	基本事業①	水産業生産基盤の整備強化							
	基本事業②	水産経営基盤の整備強化と担い手育成							
	基本事業③	魚のブランド化と地産地消の推進							
	基本事業④								
施策の トータルコスト	区 分		単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数		本	24 (20)	24 (20)	24 (20)	21 (18)	18 (15)	18 (15)
	基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	5 (5)	5 (5)	5 (5)	5 (5)	5 (5)	5 (5)
	基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	16 (12)	16 (12)	16 (12)	14 (11)	12 (9)	12 (9)
	基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	3 (3)	3 (3)	3 (3)	2 (2)	1 (1)	1 (1)
	基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本						
	B. 事業費 (事務事業の事業費合計)		千円	150,156	131,352	78,031	75,865	46,947	40,700
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計		千円	105,969	100,634	48,244	49,549	28,083	9,385
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計		千円	34,087	24,978	28,007	25,336	18,684	31,135
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計		千円	10,100	5,740	1,780	980	180	180
	基本事業④を構成する事務事業の決算額小計		千円						
C. 施策に携わる正規職員数合計		人	46	40	45	30	28	28	
D. 事務事業に要する年間総時間		時間	4,000	4,000	4,440	4,000	4,000	4,000	
E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費)		千円	16,724	16,444	17,880	16,048	17,416	17,728	
F. トータルコスト (B+E)		千円	166,880	147,796	95,911	91,913	64,363	58,428	
効 率 性 指 標	市民1人あたりにおける施策の		円	3,480	3,076	1,843	1,801	1,127	987
	G. 事業費 (定義式 : B/人口)								
	同 上		円	388	385	422	381	418	430
	H. 人件費 (定義式 : E/人口)								
同 上		円	3,867	3,461	2,265	2,182	1,545	1,417	
I. トータルコスト (定義式 : F/人口)									
参 考	1時間あたりの平均人件費		円	4,181	4,111	4,027	4,012	4,354	4,432
	魚津市の人口(各年度12月末時点)		人	43,152	42,706	42,340	42,132	41,672	41,224

基本事業概要シート①

施策 No.	6	施策名	水産業の振興
基本事業名	①水産業生産基盤の整備強化		
基本事業の目的(意図)	資源が管理され、安定した漁獲量を維持しています。		
令和 2年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【栽培増殖振興対策事業】【水産多面的機能発揮対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚介類などの水産資源の確保、増大を図り生産性を高めることを目的に、ヒラメ、クロダイ、クルマエビの種苗を放流しました。(R2放流量 ヒラメ:10,000尾、クロダイ:10,000尾、クルマエビ:40,000尾) <p>【内水面漁業振興対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川の水産資源の確保、増大を図り生産性を高めることを目的に、アユ、イワナ、ヤマメの種苗を放流しました。(R2放流量 アユ:114,000尾、イワナ:7,000尾、ヤマメ:6,000尾) <p>【漁港維持管理事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経田漁港にて、台風及び大雪被害によるプレジャーボート係留浮棧橋の破損箇所の修繕を行いました。 <p>【漁港整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「水産物供給基盤機能保全事業」により経田漁港の浚渫工を行いました。(R2実績 -4.5m航路:浚渫 V=2,508m³) 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R02年度 (最終目標年度)
市場での水揚量	t	4,227	5,009	4,776	5,300	5,300	5,300	5,300	5,300
					3,630	2,898	3,452	3,020	2,901
船揚施設利用船舶数	隻	112	93	91	130	130	130	130	130
					91	78	93	82	71

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和 2年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 栽培増殖振興対策事業	60,000	60,000	0	B	農林水産課
2	一般会計	○ 内水面漁業振興対策事業	900,000	900,000	0	A	農林水産課
3	一般会計	○ 水産多面的機能発揮対策事業	1,096,000	812,628	283,372	A	農林水産課
4	一般会計	○ 漁港維持管理事業	800,000	792,000	8,000	A	農林水産課
5	一般会計	○ 漁港整備事業	8,379,620	6,820,000	1,559,620	A	農林水産課
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			11,235,620	9,384,628	1,850,992		

基本事業概要シート②

施策 No.	6	施策名	水産業の振興
基本事業名	②水産経営基盤の整備強化と担い手育成		
基本事業の目的(意図)	漁業の後継者が育っています。		
令和 2年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【漁業経営安定対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者の漁船保険や漁獲共済の掛け金等に対する助成を行いました。 ・漁業者が漁船の建造・改造や漁具の取得などで借り入れた近代化資金の利子補給補助金を交付しました。 ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い漁業経営が悪化した漁業者に、市場管理者に支払う販売手数料に対する助成を行いました。 <p>【漁業振興事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚津漁協が漁業活性化計画に基づいて推進する「漁業の6次産業化」「安全性と品質確保」「地産地消の推進」「地域資源の商品化」「情報発信」「人材育成」等の活動に対して、引き続き支援しました。 <p>【漁業後継者育成対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規漁業就業者の獲得のための説明会、研修会等の開催に対して支援しました。 <p>【魚津みなと振興会助成事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚津北・南地区、経田漁港の活性化に向け、「魚津市3港活性化検討委員会」を設置し(仮称)魚津市3港将来ビジョン・周辺エリア活性化計画」策定に係る準備を進めました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R02年度 (最終目標年度)
漁業者数(漁協正組員)	人	220	214	211	230	235	240	245	250
					203	204	213	206	205
ボートヤード利用隻数	隻	73	67	71	80	85	90	95	100
					77	75	76	76	73

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和 2年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	船員窓口事務	2,250	300	1,950	-	農林水産課
2	一般会計	富山県北方領土復帰促進協議会参画事業	130,000	0	130,000	-	農林水産課
3	一般会計	海上保安協会富山県支部参画事業	9,000	9,000	0	-	農林水産課
4	一般会計	沖合漁業・出漁団助成事業	40,000	40,000	0	-	農林水産課
5	一般会計	魚津みなと振興会助成事業	200,000	200,000	0	-	農林水産課
6	一般会計	水産都市協議会参画事業	7,000	7,000	0	-	農林水産課
7	一般会計	○ 漁業経営安定対策事業	17,080,000	15,878,741	1,201,259	B	農林水産課
8	一般会計	○ 漁業後継者育成対策事業	40,000	0	40,000	B	農林水産課
9	一般会計	○ 漁業振興事業	15,000,000	15,000,000	0	A	農林水産課
10	予算なし	○ 農山漁村振興交付金事業	0	0	0	A	農林水産課
11	予算なし	漁業許可申請事務	0	0	0	-	農林水産課
12	予算なし	水難救助法事務	0	0	0	-	農林水産課
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			32,508,250	31,135,041	1,373,209		

基本事業概要シート③

施策 No.	6	施策名	水産業の振興
基本事業名	③魚のブランド化と地産地消の推進		
基本事業の目的(意図)	魚津産魚の料理講習会や給食食材の提供など食育も行いながら、地産地消を推進します。		
令和 2年度における 主な事業内容(活動内容)	【魚食普及事業】 ・「富山県おさかな普及協議会」が魚食の普及に関連して実施する関係冊子の作成について、県内8市町(魚津市、富山市、高岡市、滑川市、黒部市、射水市、入善町、朝日町)が連携して支援を行いました。		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R02年度 (最終目標年度)
市場での水産物取扱額	百万円	1,570	1,626	1,571	1,550	1,700	1,850	2,000	2,150
					1,426	1,391	1,374	1,267	1,135

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和 2年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	魚食普及事業	180,000	180,000	0	-	農林水産課
2					0		
3					0		
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			180,000	180,000	0		

施策 No.	6	施策名	水産業の振興
令和 2年度の 評価結果(基本 事業の成果を 考慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)		
	<p>【①水産業生産基盤の整備強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆市場での水揚げ量は、前年比△119トンの2,901トンとなりました。 (魚種別 カワハギ:前年比+18,314kg、アジ:前年比+55,240kg、フクラギ:前年比+43,228kg、ベニズワイ:前年比△25,291kg) ◆船揚施設の利用隻数については、30年度は93隻、令和元年度は82隻、令和2年度は71隻と、減少傾向にあります。 <p>【②水産業経営基盤の整備強化と担い手育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆漁業従事者は、令和2年度は前年度から1名減の205人となりました。 ◆ボートヤードの利用隻数は、ほぼ横ばいで推移し、目標値には及ばず、令和2年度は前年△3隻の73隻でした。 ◆外国人漁業実習生(インドネシア)の受入れについては、令和2年度は、前年度よりも4名減の15名でした。 <p>【③魚のブランド化と地産地消の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆水産物取扱額は、令和元年度は12億7千万円、令和2年度は11億4千万円と減少傾向が続いています。 		
	2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (令和 2年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取り組み内容を中心に記述)		
<p>【①水産業生産基盤の整備強化】</p> <p><漁港整備事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆老朽化が著しい経田漁港の機能回復や長寿命化を図るため、「水産物供給基盤機能保全事業」により、平成26年度から岸壁の補修工事(令和元年度完了)、平成29年度から港内の浚渫を行っており、令和2年度は航路の浚渫工事(V=2,508m)を行いました。 <p>【②水産業経営基盤の整備強化と担い手育成】</p> <p><漁業経営安定対策事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「魚津市水産業経営安定補助金交付要綱」に基づき、漁業者の漁船保険や漁獲共済の掛け金等に対する助成を行い、経営安定のための支援を引き続き行いました。また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い漁業経営が悪化した漁業者に、市場管理者に支払う販売手数料に対する助成を行いました。 <p><漁業振興事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆魚津漁協が漁業活性化計画に基づいて実施している「漁業の6次産業化」「安全性と品質確保」「地産地消の推進」「地域資源の商品化」「情報発信」「人材育成」等の活動に対して支援しました。 <p>【③魚のブランド化と地産地消の推進】</p> <p><魚津のさかなブランド化推進事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆魚津ブランドの定着が進む寒ハギ「如月王」のPRや、「パイ飯」販売の拡大(テイクアウト化)に対して支援を行いました。 ◆魚津漁協の「魚津丸食堂」、「魚津丸キッチン」において、地元産魚介類を利用したメニュー(ぶりを使った「魚づけ丼」・甘えびを使った「甘えび丼」・ぶりカツカレー)などを開発し、地産地消を推進しました。 <p><魚食普及事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆魚食普及に関して「富山県おさかな普及協議会」が実施する冊子「ふるさと富山湾」の作成を支援しており、作成された冊子は、市内小学校の5年生及び担当教員に配布され、広く普及に貢献していると考えられます。 ◆子どもたちの「魚離れ」を食い止めるため、県内の学校給食に、「ホタルイカ」や「ブリ」などの地元産魚介類の食材提供やメニュー提案を行い、魚食普及を図りました。 			
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)			
<p>【①水産業生産基盤の整備強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆水産資源の保全と確保を図るため、種苗の放流を引き続き行っていきます。 ◆経田漁港については、機能保全事業計画に基づき、「水産物供給基盤機能保全事業」を活用して保全工事を進めていきます。また、以前より問題となっている港内の砂の堆積については、同事業により計画的に浚渫工事を進めていきます。 <p>【②水産業経営基盤の整備強化と担い手育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆厳しい経営環境にある漁業経営者に対して、漁業者の漁船保険や漁獲共済の掛け金等に対する助成など経営安定のための支援を引き続き行っていきます。 ◆水産業の活性化のため、新規担い手の育成、確保が求められていることから、漁業後継者の育成を推進していきます。 ◆魚津港北・南地区、経田漁港及び周辺地域の活性化に向け、「3港活性化検討委員会」において関係団体等との検討を進めます。 <p>【③魚のブランド化と地産地消の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆魚津産魚介類のブランド化を推進するため、寒ハギ「如月王」や「パイ飯」などの販売促進活動を進め、普及、販売拡大を図ります。 ◆加工施設を活用した商品開発や品質向上及び販路拡大を進め、水産物の持つ価値をさらに高めることにより、漁業所得の向上を図ります。 ◆学校給食における地元産魚介類の食材提供やメニューの提案を引き続き推進します。 			